

三吉直右衛門 (第2代)

みよし・なおえもん

2

広島県会議員、三吉酒造場社長

経歴

生:明治18年(1885年)8月1日、広島県深安郡神辺町下竹田(現福山市神辺町下竹田)生まれ

没:昭和5年(1930年)4月13日、脳溢血、享年46歳、法楽寺に葬る

明治37年(1904年)	18歳	広島県立福山中学校(誠之館)卒業
明治40年(1907年)	21歳	大阪高等工業学校醸造科(現大阪大学工学部)を卒業
大正8年(1919年)	34歳	関西酒造株式会社を創立、社長に就任
—	—	所得税調査委員
大正11年(1922年)	37歳	広島県会議員、参事会員
—	—	広島県酒造組合役員、深安郡支部長
—	—	連続洗米機を発明(特許)
大正14年(1925年)	40歳	三吉酒造場が関西酒造株式会社を肩代わり
大正14年(1925年)12月	40歳	三吉直右衛門(第2代)を襲名
大正15年(1926年)	41歳	日本醸造協会主催全国酒類品評会で最高名誉賞
昭和3年(1928年)11月	43歳	御大典御饗宴に御用を賜る

生い立ちと学業、業績

明治18年(1885年)初代三吉直右衛門の三男として広島県深安郡神辺町下竹田(現福山市神辺町下竹田)生まれ。幼名は杳右衛門。

明治37年(1904年)福山中学校(誠之館)を卒業後、大阪高等工業学校醸造科(現大阪大学工学部)に入学、明治40年(1907年)同校を卒業する。

直ちに郷里に帰り、初代三吉直右衛門が慶応2年(1866年)に創業した酒造業を助け、株式会社三吉酒造場発展の基礎を築いた。

大正8年(1919年)食料政策一環として福山市三吉町に関西酒造株式会社を創立、社長とし

て清酒のほか合成酒、焼酎、味醂、果実酒などの創業醸造工場を設けた。

また所得税調査委員に選任せられ、大正11年(1922年)広島県会議員に当選、参事会員に挙げられた。

さらに広島県酒造組合役員並びに深安郡支部長に推され、県内外の同業者間の醸造技術の改良指導に奔走し、その間連続洗米機を発明して特許を受け、業界の発展に貢献した。

その後、第一次世界大戦終了と共に不況が深刻化したが、関西酒造株式会社も経営が困難となり、やむなく大正14年(1925年)に株式会社三吉酒造場において借入金を肩代わりし、三吉酒造場の福山工場として清酒の製造に主力を注いだ。

なお、三吉酒造場を株式会社に変更し、全国清酒品評会へ出品したところ全4点が優等賞を受賞、広島酒の名声を全国に広めた。

大正14年(1925年)12月、初代三吉直右衛門の死亡により、2代目三吉直右衛門を襲名した。

昭和5年(1930年)4月13日、若くして脳溢血にたおれた。

家業は長男が継ぎ、三吉直右衛門(第3代)を名乗った。 鍋島喜八郎(昭和28年卒)

三吉家の祖先は多年毛利侯に仕え三次城主であったが、のち神辺城客分となっていた。
(出典3)

出典1:『備後先覚者名鑑(郷土を創った人々)』、21頁、式見静夫編、備後文化出版社刊、昭和35年6月

出典2:『福山学生会雑誌(第70号)』、57頁、福山学生会事務所編刊、昭和5年7月30日

出典3:『皇紀二千六百年記念誌 興亜日本建国史』、361頁、日本同盟通信社編刊、昭和15年11月20日

2005年5月31日更新:経歴●2006年3月2日更新:経歴・本文(深安郡→福山市)●2006年5月30日更新:タイトル・連絡先(削除)●2008年7月11日更新:経歴・出典●2008年9月18日更新:経歴・本文・出典●